

授業科目名・形態	高齢者福祉論 I	講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	中里 操		実務経験の有無	無	開講期	1年後期

【授業の主題】

高齢者の生活を取り巻く社会情勢や虐待や地域移行、就労問題などの生活実態を、社会福祉や介護問題として理解する。その上で生活支援にあたって必要とされる介護の考え方、介護保険制度や高齢者福祉・介護に係わる他の法制度について理解する。

【到達目標】

1. 高齢者の生活取り巻く社会情勢と福祉や介護の需要を理解する。
2. 高齢者福祉の発展過程について理解する。
3. 介護の概念や対象について、並びにその理念について理解する。
4. 介護保険制度や福祉・介護に係わる他の法制度、社会システムについて理解する。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 オリエンテーション、高齢者とは
- 第 2 回 高齢者の特性①（社会的理解、身体的理解）
- 第 3 回 高齢者の特性②（精神的、総合的理解）
- 第 4 回 少子高齢社会と高齢者①（少子高齢社会への移行とその要因・課題）
- 第 5 回 少子高齢社会と高齢者②（高齢者の健康問題、介護問題、経済的問題、生活意識）
- 第 6 回 高齢者保健福祉の発展①（高齢者処遇の歴史と戦後の老人福祉制度）
- 第 7 回 高齢者保健福祉の発展②（介護保険創設から拡充期、システムの転換と理念の変容）
- 第 8 回 高齢者保健福祉の法体系①（老人福祉法の制定と法制度の特徴）
- 第 9 回 高齢者保健福祉の法体系②（医療に関する法律、高齢者虐待防止、権利擁護と成年後見制度）
- 第 10 回 介護保険制度の基本的枠組み①（制度創設の背景と理念・目的）
- 第 11 回 介護保険制度の基本的枠組み②（保険者と被保険者、費用負担と構造）
- 第 12 回 要介護認定システムとプロセス
- 第 13 回 保険給付と介護報酬
- 第 14 回 地域支援事業と地域包括支援センター
- 第 15 回 介護保険事業とサービスの質

【授業実施方法】

講義形式で行う

【授業準備】

前回講義を復習する。講義予定箇所を読み、専門用語、概念等について調べておく。疑問点を整理しておく。講義中に事例として取り上げたニュースなどは自分で確認しておく。

【主な関連する科目】

社会福祉概論、社会保障論、地域福祉論等

【教科書等】

新・社会福祉士養成講座 『高齢者に対する支援と介護保険制度』 第6版 中央法規出版

【参考文献】

適宜紹介する。

【成績評価方法】

授業への取り組み姿勢 10%、提出レポート 30%、期末試験の成績 60%の総合評価とする。

【学生へのメッセージ】

高齢者を取り巻く現状と課題を踏まえ、地域包括支援システムを理解する。介護問題に収斂せず、地域文化も含めた生活環境と生活実態に関心を持って下さい。